

令和2年7月17日
看護学部長
教務学生部長
実習委員長

臨地実習に向けての注意事項

臨地実習で、看護の対象となる方や指導いただくスタッフの方と接するにあたり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状況を考慮し、今年度は特に感染予防に関する意識を高く持ち行動することが必要です。実習が始まる前から常に自分の体調を管理し、下記の注意事項を守ったうえで、実習に臨みましょう。

なお、状況の変化により、注意事項については変更していくことがあります。

1. 実習前2週間の行動

- ・海外旅行は禁止です。
- ・感染拡大が予測される国内地域への不要不急の外出は控えてください。
 - ※ 東京都，千葉県，神奈川県，埼玉県から移動した場合は，10日間の自宅観察期間が必要です。（指定地域は感染状況により流動的です）
- ・3密空間への出入りを避けましょう。
 - ※ 3密空間；
換気の悪い**密閉**空間、多数が集まる**密集**場所、間近で会話や発声をする**密接**場所を指す
- ・毎日の体調管理確認シート(AIDLE-K)への状況入力を継続してください。
 - ※ **土・日を含めて2週間以上連続のチェックがないと，実習に参加できません。**

2. 準備

- ・使い捨てマスクは余裕もって枚数を確保してください。
 - ※ 布マスクは禁止です。
- ・携帯用ポケットアルコールティッシュも準備しておくといいです。

3. 更衣時の注意

- ・ロッカールームは3密になりやすいため、話をしないで速やかに更衣し退室しましょう。
- ・髪はできるだけ自宅でまとめておきましょう。

4. 実習期間中

- ・体調不良を感じた時は、速やかに担当教員または実習指導者へ伝えてください。
- ・実習期間中の昼食場所，臨地での待機場所等については，担当教員の案内にしたがってください。